

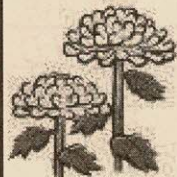


# 育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 TEL 227-1972

- 1 安心して登校できる環境づくり(いじめ防止等)  
安心・安全な居場所づくりと相談活動の充実  
※ 子ども・若者育成支援強調月間(11月)
- 2 学校・地域・関係機関等の連携による啓発活動の推進  
※ 児童虐待防止推進月間(11月)

## 児童虐待防止推進月間に寄せて



厚生労働省によると、児童相談所での児童虐待相談対応件数は、記録を取り始めた平成2年度(1990)が1,101件で、20年後の平成22年度(2010)が56,384件、令和3年度(2021)が207,659件と、30年の間に約190倍に増加しています。この数字から、子育てに悩む親が増加していることが読み取れます。

下表の警察庁発行「少年からのシグナル」の「児童虐待事件の検挙数等の推移」を見ますと、児童相談所を始め各種関係機関等と連携した働きかけや取組にもかかわらず、検挙件数は、昨年度と比較して41件増加しています。また、顕著な増加として気になることは、性的虐待が40件も増加していることです。

子どもへの虐待は、家族間のストレスや経済的な問題、

年次	H24	H29	R2	R3
検挙件数	521	1138	2133	2174
身体的虐待	387	904	1756	1766
性的虐待	112	169	299	339
ネグレクト	16	21	32	21
心理的虐待	6	44	46	48
死亡児童数	78	58	61	54

《児童虐待事件の検挙件数等の推移》

ています。

虐待問題への取組として、我々が大切にしたい一つ目は「早期発見」です。子どもの様子・親の様子・親子の関係や接し方などが、「何か変だ」「何か気になる」と感じたら、決して見過ごすことなく虐待を疑い、周りの人と問題を共有しながら、「早期通告」を行うことだと考えます。

しかしながら、虐待は、子ども自ら相談することが減多になく、虐待を問われても否認するケースが多いのが実情です。それは、親から見捨てられたくない想いや親からの新たな怒りを買うことへの恐怖、今までの生活を失う喪失感・不安などからだと思像します。そうであるからこそ、大切にしたい二つ目は、子どもが何でも相談しやすい関係を常に構築しておくことだと考えます。子どもの心からの声(辛い思い)を聴ける関係・環境づくりを大切にしていきたいものです。

三つ目は、虐待発覚後に子どもの心身のケアをどう進めていけばよいかを考案し、実践力を身に付けておくことです。

発見の難しい虐待問題ですが、子どもたちの命と安全を見つめる関わりを工夫して、一人一人の希望に満ちた未来を支えていきたいものです。

何か「変」と感じたら

(いちはやく) 189番へ

## 青少年の生活環境点検調査から



青少年の生活環境の実態を把握し、環境浄化活動に役立てるために毎年7月1日から8月31日の期間で、小学校区ごとに環境点検調査に取り組んでいただいております。

今年の調査結果の一部は右表のとおりです。昨年度と比較して、たばこ自動販売機・無線LANスポットの利用可能な箇所等が減っているものの、依然としてかなりの数が挙げられています。また、今年も空き家・空き店舗などが、昨年比べて大幅に増加している状況です。

空き家等については、まだ多くて把握できていない地区もあり、「子どもたちの遊び場になっていないか」「倒壊の恐れはないか」など、危険な場所については、保護者にも周知し、さらに情報の収集を図る必要があります。

今後も、青少年を取り巻く生活環境を定期的に点検し、その結果を校区全体(学校・家庭・地域)で共有することが、具体的な声かけや補導活動などに生かされ、青少年の健全育成につながるものと思います。特に、子どもたちに対しては、校区安全マップを活用して時機を捉えた指導を繰り返し実施して下さるようお願いします。

## 青少年の生活環境点検調査結果(概況)

調査項目	R4	R3
有害図書・アダルトビデオ・大人のオモチャ等自動販売機	8	9
酒類自動販売機	92	80
たばこ自動販売機	222	238
ゲームセンター	12	11
スーパー等のゲームコーナー	27	24
トレーディングカード取扱店	42	32
カラオケボックス	25	28
ラブホテル	25	26
有害図書のあるコンビニエンスストア	206	206
Wi-Fi等無線LAN利用可能な箇所	300	306
青少年がたむろする場所	97	91
交通危険箇所	770	730
入口を塞いでいない防空壕など	31	21
地形的に危険な場所	406	407
空き家・空き店舗	2,151	1,541
不審者が出没した場所	147	133
子ども110番の家	881	834
かけこみ110番等	82	87



【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 9月の声かけ人数 521(177) 前年同期 225(62)

◇ 9月の学職別声かけ人数 ( )は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	49(12)	136(29)	309(119)	10(7)	0(0)	0(0)	504(167)
その他	0(0)	2(0)	14(9)	1(1)	0(0)	0(0)	17(10)
合計	49(12)	138(29)	323(128)	11(8)	0(0)	0(0)	521(177)
前年度比	20(3)	111(25)	157(79)	9(8)	▲1(0)	0(0)	296(115)

◇ 9月の地区別声かけ人数 ( )は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	277(93)	53.1%
天文館	63(46)	12.1%
谷山	161(36)	30.9%
上町	0(0)	0.0%
鴨池	17(0)	3.3%
伊敷	3(0)	0.6%
その他	0(0)	0.0%
合計	521(177)	100.0%

○ (午前声かけ)商業施設のゲームコーナーは、総勢60人ぐらいの私服中学生で賑わっていた。その全てが体育大会の振替休日で子どもたち同士で来ていた。プリクラにも入れ替わりで入っていた。

○ (夜間声かけ)駅周辺(公園等含む)では、21時が過ぎているにもかかわらず、2人で行動する制服姿の高校生を数組見かけた。新学期早々、気の緩みを感じた。中には、相談をしている子もいたかも知れないが、21時を過ぎていたので、どの高校生にも早めの帰宅を呼びかけた。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和4年1月～9月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数 ( )は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	36(21)	27(3)	1(0)	0(0)	9(4)	36(13)	1(0)	2(2)	3(2)	115(45)	▲18(15)
西署	15(5)	40(4)	0(0)	0(0)	2(1)	38(9)	1(1)	0(0)	3(2)	99(22)	48(16)
南署	17(2)	27(3)	2(2)	0(0)	0(0)	56(18)	3(3)	0(0)	3(2)	108(30)	29(15)
人数合計	68(28)	94(10)	3(2)	0(0)	11(5)	130(40)	5(4)	2(2)	9(6)	322(97)	59(46)
割合	21.1%	29.2%	0.9%	0.0%	3.4%	40.4%	1.6%	0.6%	2.8%	100.0%	
当月発生計	9(1)	12(1)	0(0)	0(0)	2(1)	32(10)	0(0)	1(1)	0(0)	56(14)	※当月発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数 ( )は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	0(0)	2(1)	4(0)	0(0)	4(0)	1(0)	11(1)	▲9(▲3)	19(11)
西署	6(1)	6(0)	6(1)	0(0)	4(0)	0(0)	22(2)	0(▲2)	27(9)
南署	10(1)	7(3)	3(1)	1(0)	6(1)	3(0)	30(6)	▲13(▲3)	27(12)
人数合計	16(2)	15(4)	13(2)	1(0)	14(1)	4(0)	63(9)	▲22(▲8)	73(32)
割合	25.4%	23.8%	20.6%	1.6%	22.2%	6.4%	100.0%		
当月発生計	0(0)	3(0)	1(0)	0(0)	2(0)	2(0)	8(0)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- 9月に専門学校生向けの薬物乱用防止教室を実施した。10月は、市内中学校でTT指導による非行防止教室と、市外中学校で薬物乱用防止を実施予定である。
- 居場所づくり活動は、9月に大学生ボランティアの協力を得てバドミントン大会を実施した。10月はサツマイモ収穫体験活動を行う予定である。
- 少年相談活動(ヤングテレホン)では2件の相談があった。サイバーパトロール活動は継続中であるが、相変わらず不適切な書き込み等が見られ、注意喚起メッセージの送信を行っている。
- 補導職員による午前と午後の中央駅付近の巡回では、今のところ特に気になるような事案はない。